

飼い主に求められること

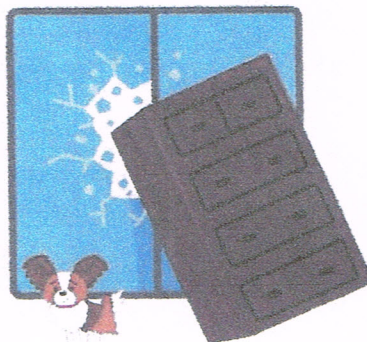
災害の発生時にペットを守れるのは、その飼い主であることから、まずは**飼い主が無事であることが必要**となる。そのため、飼い主がペットの防災を考えることは、ペットだけではなく飼い主自身の災害対策を考えることに他ならない。飼い主が自らの安全を確保できるように備えることで、災害時にもペットを適切に飼養することが可能になる。



ペットにとって安全な場所は、
そこに住む人にとっても安全です！

家具の転倒防止対策はできていますか？

平成16年に発生した
新潟中越大震災では、
倒れた家具の下敷きになり、
小型犬（パピヨン）が
亡くなったケースも！
小型の犬や猫、
小動物にとっては
小さな家具も
大きな危険物になります。



ペットにとって安全な場所は、
そこに住む人にとっても安全です！

□ 窓ガラスや家具のガラスの
飛散防止対策はできていますか？

平成26年に発生した熊本地震では、
ガラスが飛び散った室内を逃げ惑い、
肉球を怪我してしまったペットも！

飛び散ったガラスは
飼い主の避難の妨げにもなります。



◆ 飼い主が行うべき対策の例

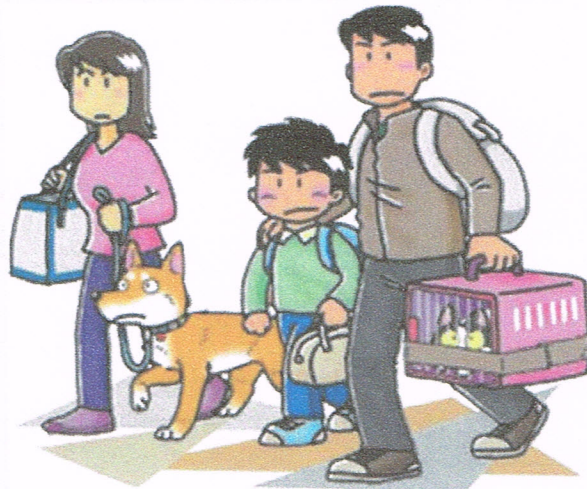
平常時

- 住まいの防災対策
- ペットが迷子にならないための対策
(マイクロチップによる所有者明示)
- ペット用の避難用品や備蓄品の確保
- 避難所や避難ルートの確認

災害時

- 人とペットの安全確保
- ペットとの同行避難 (置き去りにしない)
- 避難所・仮設住宅におけるペットの飼育マナー遵守、
ペットの健康管理

同行避難（同伴避難？）



「同行避難」は、ペットとともに安全な場所まで避難する行為（避難行動）

「同伴避難」は、被災者が避難所でペットを飼養管理すること（状態）を指す。
ただし、同伴避難についても、指定避難所等で飼い主がペットを同室で飼養管理することを意味するものではない。

◆ ペット用の備蓄品と持ち出す際の優先順位

優先順位1 常備品と飼い主とペットの情報

- 療法食、薬
- フード、水（5日分、できれば7日分）
- 食器
- 予備の首輪、リード（伸びないもの）
- ガムテープ（ケージの補修など）
- 飼い主の連絡先、その他のペット関連緊急連絡先、預り先情報
- ペットの写真（スマホに画像を保存でも可）
- ワクチン接種状況、既往症、健康状態、行きつけの動物病院

優先順位2 ペット用品

- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品（猫は慣れたトイレ砂）
- タオル、ブラシ
- 洗濯ネット（猫用）

◎ 災害に備えた しつけと健康管理

犬の場合

- 「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」などの基本的な訓練
- 日頃からケージに入る事を慣らしておく。
- 不必要にほえないようにしつけておく。
- 人や他の動物を怖がったり攻撃的にならない。
- 決められた場所で排泄ができる。
- 狂犬病、予防接種など各種ワクチン接種を行う。
- 犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除を行う。
- 不妊、去勢手術を行う。

猫の場合

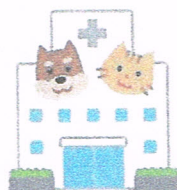
- ケージやキャリーバッグに入る事に慣らしておく。
- 人やほかの動物を怖がらないようにしておく。
- 決められた場所で排泄ができる。
- 各種ワクチン接種を行う。
- 寄生虫の予防、駆除を行う。
- 不妊、去勢手術を行う。

備えておく「こと」を考えてみよう！



□ ペットの健康管理は万全ですか？

避難所には多くのペットが集まってきますし、
ペットホテルなどに預ける際にも、
狂犬病や混合ワクチンの接種やノミマダニ予防が
必要です。



備えておく「こと」を考えてみよう！

日頃の健康管理は飼い主にしかできない
災害対策の一つだと考えてください。



かかりつけの動物病院で
定期的に健康診断をし、
平常時の数値を知っておくことが、
災害発生時の「異常」の
早期発見につながります。

備えておく「こと」を考えてみよう！

□ ペットのしつけはできている？

ハウストレーニングは、
ケージなどに入る機会が多くなる
災害時に役立つ
「しつけ」の一つです。



◎迷子にならないための対策

犬の場合

- 首輪と迷子札
- 鑑札や狂犬病の予防注射済票
(飼い犬は狂犬病予防法により上記の装着が義務付けられている)
- マイクロチップ装着

猫の場合

- 首輪と迷子札
(引っかかりを防止するため、力が加わると外れるタイプがよい)
- マイクロチップ装着

備えておく「もの」を考えてみよう！

- 避難に必要なキャリーバッグはありますか？

キャリーバッグはネコの避難には必須です！
ネコを複数頭飼っている方は、
どうやって運ぶかも
考えておきましょう。



備えておく「もの」を考えてみよう！

- リードや首輪は用意できていますか？

犬は避難時に
係留することもあります。

逸走事故対策として、
壊れやすい装飾用の首輪や
抜けやすい胴輪、
伸縮性のリードは避けましょう。



NG!

伸縮性で係留に適していないリード



令和4年6月1日から、ブリーダーやペットショップ等で販売される犬や猫について、マイクロチップの装着が義務化されました。

